

JR東海労ニュース

No.2749

2023年3月6日

JR東海労働組合



2023 JR総連春闘を職場から闘おう！シリーズ⑪

**JR東海で働く社員の皆さん！
ベア、夏のボーナスに期待していますか？**

JR東海労は、今春闘でベア10,000円、夏季手当3.5ヶ月などの賃金引き上げのほか、コロナ慰労金と無利子貸付を要求し闘っています。

コロナ慰労金

エッセンシャルワーカーと言われる鉄道業の社員として、コロナウイルス感染症の感染リスクの高まりに怯えつつも、しっかりと日々の業務を遂行してきた社員への、会社としての謝意を表すひとつの方法としての要求です。会社は「これまでの期末手当の中に、コロナ慰労の分も含めている」と主張していますが、言葉だけの謝意はもう必要ありません。

無利子貸付

5回連続となった期末手当の「安定的支給ベース（夏2.7、冬2.9ヶ月）」を下回る支給月数で、住宅ローンなどを抱えた社員から「銀行から『支払いは大丈夫ですか』と確認の電話があった」「実家から借りた」「子供の学資保険を取り崩した」などの話が聞こえてきます。

2020年の年末手当から4回連続となった2.2ヶ月分という数字は、会社発足直後の1988年夏季手当2.1ヶ月、1989年夏季手当2.3ヶ月の月数に匹敵します。

現在とでは社会情勢も諸物価も、まして家の値段もかけ離れていた当時と対等な月数であり、まして近頃は、物価高騰で実質賃金が目減りしている現状です。このようなことから、JR東海労は「無利子貸付」の要求をこの間ずっと突きつけています。